

## インドクライミングの危険性について

以下は、当施設の利用にあたっての危険性と、それを回避するために必要な事の概要です。記載事項はあくまでも主要な例であって全てを網羅しているものではありません。クライミングの危険性とその回避方法を把握した上での施設利用をお願いします。

ご不明な点はスタッフまでお尋ねください。

### 施設利用にあたっての主な危険

- 1 落下  
施設利用にあたって避けられない要素です。  
落下によって壁・ホールド・他者との激突、マット外への着地、着地失敗などによってケガ、後遺障害、死亡といった事態が発生する可能性があります。
- 2 ホールドの回転、破損  
ホールドは破損したり回転する可能性があります。ホールドの管理には万全を心がけていますが、その構造や性質上 100%の防止は保証できません。
- 3 施設設備の誤利用  
クライミングウォールに限らず、施設内の設備や用具(特にトレーニング器具)は利用方法を誤ると非常に危険です。必ず正しい知識の下で利用してください。

### 危険回避のための主な注意事項

- 1 マットについて  
トライする時以外は上がらないで下さい。休憩の際にマットに座らないでください。
- 2 トライについて  
隣のクライマーとの距離を充分に開けて、いかなる場合にも他者と衝突しないようにしてください。また、無理なトライでケガや故障をしないようにしてください。
- 3 ホールド、壁について  
壁のボルト穴に指を入れしないでください。  
壁の上端や天井の鉄骨などを掴まないでください。
- 4 落下について  
危険な体勢で落ちないようにしてください。  
可能な限りクライムダウンをして落下距離を減らしてください。  
マットは着地を補助する以上の機能はありません。マット上へ着地しても、制御に失敗するとケガの原因となります。

その他にも思わぬ事故が発生する可能性があります。

クライミングエリア内では常に危険を予測し、回避できるように心掛けてください。